

2020年1月28日

日刊建設工業新聞

さらなる飛躍を祈念

自走式駐車場工業会
30周年記念祝賀会

日本自走式駐車場工業会（飯島登美夫理事長）は、東京都千代田区のホテルポール翹町で23日に「創立30周年記念祝賀会・新年賀詞交歓会」を開いた。会員企業の関係者や国土交通省の幹部職員、国会議員ら約140人が出席し、同工業会のさらなる飛躍を祈念した。

冒頭、飯島理事長は「今年で創立30周年を迎える。設立当初は1層2段の駐車場がほとんどだったが、その後大きな駐車場が相次い

で登場し、今では6層7段の駐車場が出てきている。工業会としても今後さらに飛躍を遂げたい」と抱負を語った。写真。

国交相から耐火建築物の認定を受ける「認定駐車場」の普及活動にも触れた。



「自治体に向けて普及を図っているが、まだ認定駐車場を知らない人が多い。毎年活動を続けていく必要がある」と強調。耐火建築物の認定を受けることで認定

表示板が掲示できる制度の利用状況は「今年3月まで178件になる見込みだ」と報告した。今後も表示板を掲示した駐車場の件数を増やすことで認定駐車場の認知度向上を図ること

を表明した。

あいさつの後、日本自走式駐車場工業会の活動を支えてきた功労者8人を表彰。当日出席した6人に感謝状と記念品を贈った。